



# 聖ヨハネ会だより

第42号 平成30年 7月

## 聖ヨハネ会の「新体制」について

法人事務局長 竹川 和宏

昨年は法人にとって社会福祉法が全面施行された年であり、新しく評議員や理事が選任され、ガバナンスの強化として会計監査人が設置され、法人運営の体制が新しくなりましたが、そのことだけでなく様々な新しい取り組みを実施していく「新体制」が発足しました。

ヨハネ会は医療・介護・福祉という複合的な事業運営をしており、それぞれが連携して仕事をし、お互いをよく知っているのだろうと外からは見えるかもしれませんが、恥ずかしながらそう聞かれると、自信をもってそうですと答えることができませんでした。遵守する法律や制度に沿った運営を進めてきた結果、縦割りの組織になっていたのだと思います。そこで、まずは医療部門と高齢福祉部門が医療と介護の連携という視点で、お互いのやっていることをもっと知っていき、問題意識を共有し、サービス等を高めていくことで地域により貢献できることを考えてみようではないかということになり、**チーム名「コラボヨハネ」**という新体制を作りました。認知症に対する支援という観点から、文字通りコラボレーションしていけることは何かを考えていきます。

また、私たち聖ヨハネ会の「らしさ」（自分たちが自信を持ってPRできることは何か）を発信していくにはどのようにすればいいのか、ホームページの内容などツールを検討していったり、SNSによる職員情報等の発信を考えたり、法人採用の応募者の迎え方を研究したり、そんなことをチームを作って取り組んでみようかと考えました。そこでできたのが**「魅力発信チーム」**という新体制です。若手職員6名がまずは集まってもらい、研究内容や会議の開催方法等、自分たちで考えてもらうことにしました。（若者でない私などは参加できません(笑)）うまくいくいかないはもちろんあると思いますが、そこに拘ることなく個性を発揮していつてもらいたいと思っています。

ぜひ、「新体制」にご期待ください！！

## 各事業所の活動



### 食べることから楽しさや喜びを支援して

桜町聖ヨハネホーム 副園長 芦澤みゆき

当ホームの栄養部は、食べることを通して様々な取り組みを実施しています。今回はそのことについて書かせていただきました。

まずは、昼食時の主菜の選択メニュー。施設に入所されると、ご自分の家で生活していたように、色々な事を自ら選択し決定する機会が少なくなります。毎食ではありませんが、3種類のメニューから栄養士がお一人お一人にどれを注文されるのかをお聞きし、それをお出しするようにしています。デザートバイキングも数種類のプリンやゼリーからお好きなものを選んでいただきます。色とりどりに並べられたトレーの中から好きなものを選ぶことはホテルのスイーツバイキングのようで皆様楽しまれています。ご自分で選ばれたメニューは選択する喜びとそれを味わう喜びに繋がっていると思います。

また、栄養ミニ講座として月1回のペースでご利用者様に、栄養について栄養士からミニ知識をお話しさせていただいています。梅雨の時期は食中毒についてや、夏場には脱水にならないようなお話をしています。お集まりのご利用者様は真剣にメモを取られる方もいらっしゃいます。

食堂には栄養部職員の手作り日本地図があり、その地域の郷土料理をお出しした時にメニューをそこに書いて皆様にお知らせることをしています。ご自分の郷里の味を楽しまれ懐かしくお話しされる方もいらっしゃいます。

おやつ作りでは、栄養部職員がおやつを作るところを目の前でご利用者様が見て楽しむことが出来、時には少しお手伝い頂いたり普段調理場であまりご利用者様と接する機会の少ない職員もどのような方が自分の作った食事をどの様な顔で召し上がっているのか直に感じることでできる貴重な場となっています。ご利用者様の笑顔で召し上がる姿を身近で見て感じられることは栄養部職員のやる気の栄養補給にもなっているとおもいます。

このような取り組みを栄養部が自ら企画運営することで、ご利用者様をより身近に感じる事が出来、普段の料理に関しても自ら研究をして、よりご利用者様の笑顔を引き出せるようひと手間かけた愛情深い努力を惜しみなく実施してくれています。





## 『イベントボランティア』について

桜町高齢者在宅サービスセンター 生活相談員 星野 廣平

日頃より、桜町高齢者在宅サービスセンターの事業にご理解とご協力ありがとうございます。  
通所介護系では、2年前より地域の皆様のご協力をいただいて、力を入れている『イベントボランティア』という活動があります。

日々の事業で関係が出来た、ご家族やケアマネジャー、お茶出しのボランティアの方々、老人会、ホームページなど、様々な形で繋がり、音楽を中心にデイサービスご利用者へ披露して下さっています。ここ半年でも、15回のイベントがあり、一つのイベントに対し、4～12名のボランティアの方々にご協力いただいております。民謡や懐メロは、ご利用者にとって馴染みがあり、反対にコントラバスや沖縄三味線など珍しい楽器が聴ける時間は、心地よく楽しい時間になっています。皆様各々に手拍子される方、口ずさむ方がいます。職員ではご提供できない時間を作り出してくれるイベントボランティアの方々には、感謝申し上げます。



小金井第2小学校PTAで発足した武蔵乃桜太鼓！子供たちも演奏し、ご利用も体験させていただけます。



3か月に1回、定期開催となっているハッピースマイル！民謡・ハーモニカ中心に職員も躍らせてもらっています。



2か月に1回、定期開催の桜唄会！プロジェクターや沖縄三味線で見楽しむことができます。



カトリック教会のご縁で来ていただいた、唄とバイオリン演奏です！華やかな衣装・演奏に目を奪われました。



## イベントなど（本町センター）

本町高齢者在宅サービスセンター センター長 山極 愛郎

本町センターが実施しているイベントについてご紹介します。

昨年12月は、年に1度ボランティアの皆様の日頃の感謝をお伝えするため感謝の集いを開催しています。ご利用者様向けにはクリスマス忘年会を開催し、行事食やコンサート、職員による余興を愉しんでいただきました。



今年に入りまして1月は、白寿（100歳）を迎えたご利用者のI様に手づくりお誕生会を開かせていただきました。また、1月は南岸低気圧による4年ぶりの大雪があり、けやき通り商店会の皆さんと協力し雪かきを行いました。

2月は、本町2丁目町会による「防災のための町歩き」に当センターをオリエンテーション会場として開放いたしました。また、玄関前ならびに西側駐車場側溝にコンクリートの浮きを補修するための工事を行いました。

3月は、本町センター利用者協議会を開催しています。組織の風通しがよく、よりよい事業運営に繋がるようご利用者様、ご家族様、地域の代表の方、商店会の代表の方、ボランティアの方、行政の方などにお集まりいただき、様々な立場からご意見をお伺いし、事業運営に活かしております。また、同月は西東京市に拠点をおく声楽グループ（ヴォーチェ・アプリート）によるコンサートを開催させていただきました。カンツォーネなど日頃聞くことのできない歌や音楽を堪能することができ、皆さん喜ばれておいででした。さらに、本町2丁目町会の各種趣味活動グループ「元気です本町2丁目町会」の総会が開催されました。平成30年度も良い1年にしてゆきたいと存じます。



## 学園ハイキング

富士聖ヨハネ学園 支援2課 渡邊沙也加

ヨハネ学園の恒例行事として今年も5月16日にハイキングが行われました。天気も良く暑い中でしたが、利用者さんは、それぞれのペースに合わせて長距離から短距離の4つコースに分かれ自然を感じながら頑張ってお歩いていました。また、今年度はスタンプラリーを用意し、チェックポイントでスタンプを押して貰い、ゴールした際にお菓子のプレゼントが貰えるようにしました。頑張ってお歩き終わった後、嬉しそうにお菓子を頬張っている姿が見られました。ゴール後の昼食は食事サービス課の方が用意してくれたカレーを青空の下、皆で食べました。お菓子を食べた後でも、おかわりをしたりしていました。笑顔でお腹一杯のハイキングでした。



## 明見湖ハイキング

富士北麓聖ヨハネ支援センター センター長 米川 崇

4月19日センターから3キロほど離れた明見湖までハイキングに行きました。全行程歩きとおす人、途中まで歩き車に乗り換える人、センターから車に乗る人、それぞれの脚力に応じて、快晴の下明見湖に向かいました。到着後は、湖畔を走って競争したり、歩いて（車椅子で）の散策を楽しみ、待望のランチタイム。職員の奏でるソプラノサクスの音色が流れる中、市内の福祉サービス事業所が配達してくれたお弁当をいただきました。

午後からはお楽しみのレクリエーション。「紙芝居」「エプロンシアター」で盛り上がった後、フライングディスクに初めて挑戦しました。車椅子の方も参加できるスポーツで、みんなの大きな歓声が響き渡りました。あいにく湖畔の桜は散ってしまっていたようですが、とても楽しい一日を過ごすことが出来ました。





## みんなが楽しみな余暇活動

小金井聖ヨハネワークセンター 所長 古賀 大樹

小金井聖ヨハネワークセンターは20名定員の就労継続支援B型事業所で、現在18名の利用者さんが在籍され、就職を目指して頑張っている人、とにかく毎日来所出来るように頑張っている人と様々です。

祝日は余暇活動として、いろんなイベントを企画し行っています。

今回の企画イベントは、平成30年4月30日月曜日、高尾山までハイキングへ行ってきました。

3月の余暇活動として予定していましたが、その日はあいにくの雪で中止となり今回に予定変更しての余暇活動となりました。

この日は晴天に恵まれ、みんな頂上を目指して汗だくになりながら登り、頂上で食べるお弁当は格別で、疲れも飛んで笑顔がみられました。

就職した先輩も参加してくれ、久しぶりにみんなと過ごす時間を楽しみ、日頃の仕事の辛さも忘れて楽しんでくれたようです。

みんなが楽しみにしている余暇活動は、バーベキュー大会、ボーリング大会、カラオケ大会、調理実習など、これからもイベントが盛りだくさんです。

毎日作業を頑張ってくれているみんなの疲れを癒せるような、みんなが楽しみ、笑顔で元気になれるような余暇活動をこれからも企画していきたいと思います。



## 「清瀬聖ヨハネケアービレッジ・下清戸」でのひと時

清瀬聖ヨハネケアービレッジ 金子 彩

ケアービレッジでは居心地の良い空間とゆったりとした時間が流れ利用者の方々はテレビを見たりCDを聴いたりと思い思いにのんびりとした時間を過ごしています。いつも明るい章子さんは、皆でお喋りをする事も大好きですがぬりえをする事も大好きです。そんな章子さんがお喋りをせず、ぬりえもせず、職員（私）をじっと見つめていた事がありました。

ちょっと気にかかり、話かけると「…泉（姉）ちゃんに電話したい」と小声で教えてくれました。



早速、お姉様に電話をして、章子さんに取り繋ぐと「泉ちゃん！元気！？」と一気に明るい声で楽しそうに話しをしていました。

電話が終わり意気揚々と「今度、泉ちゃんとパンケーキ食べに行くの！」と言い、赤い色鉛筆を選んでまたぬりえを始めました。赤い色は章子さんが上機嫌な時にチョイスする大好きな色です。予想以上に喜んでもらえたと思い私も嬉しくなりました。もしかしたら、ご家族以上に長い時間を共に過ごすケアビレッジの利用者と支援員の関係ですが、こうした一瞬に利用者の方は昔に戻って甘えたいのだなと思いました。ご家族にはなれませんが今後も“ほんわか”した優しい空間と居心地の良い空間が広がるようにしたいと思います。



## 子ども達の成長とともに

桜町児童ショートステイ 主任 篠原由美子

この春もショートステイを利用していた子ども達が社会へ巣立っていきました。

子ども達に最初に会った時は支援費制度が始まった頃で、当時の桜町病院はまだ旧棟でした。その後、法律や制度が変わり、病院も新しい建物となり、ショートステイは別館2階を使わせていただくようになり現在に至っています。

子ども達との時間は、それぞれの武勇伝やエピソードで満載です。

この時間の積み重ねが、今のショートステイで行っている保育の基盤となっています。

つないだ手がまだ小さく、抱っこも軽々出来ていた頃から、身長が伸びて次々に職員を追い越し、力仕事のお手伝いも軽々と引き受けてくれるようになっていったこの10数年間。

成長めざましい時期に関わることが出来る大きな喜びとともに、あらためてその責任の重さを感じています。

子ども達とご家族の今に向き合いながら、やがて社会人として巣立っていく姿に寄り添うことができる場所であり続けたいと思っています。

桜町児童  
ショートステイ

1日のながれ

21:00 睡眠  
18:00 夕食  
15:00 自由  
13:00 学校  
7:30 朝食  
6:30 自由

お散歩、買い物、お手伝いなど、屋外での時間も日常生活の体験として大切にしています



## 「感染制御対策の充実に向けて」

桜町病院 感染制御実践看護師 野澤かおり

桜町病院内では、平成28年度より本格的に「感染制御対策」への活動を開始しました。それまでは、各職場がそれぞれの立場で感染対策に努めてきました。一方で、「チーム医療・活動」というものが主流となり、当院でも以前からICT（Infection Control Team）という、病院全体を感染制御していくチームは存在していましたが、有事の際の医療安全活動が多く「感染を制御する」といった本来の姿ではなかったように思います。現在はICTを「感染が起こってから」の活動ではなく、「感染を起こさないために」への実践チーム活動を目標としています。チームメンバーとしては、医師・看護師・薬剤師・検査技師の4職種で成り立つのですが、昨年度から「病院全体で感染制御を考える」を目標に、メンバーの職種も増えていきます。栄養士・機能訓練士・放射線技師・事務職などです。総勢9名で活動しています。



昨年度は、ヨハネ祭での「衛生的手洗い体験」(感染リンクナースと共同)のブースを開催でき、一般の方々にも参加してもらえました。今後も頑張っってより良い環境を提供し、患者様や病院職員をはじめ病院内にいるすべての人が安心して過ごせ、また良質な医療が提供できるよう頑張っていきたいと思います。また病院内だけではなく、少しでも地域へ感染制御に関する情報発信ができるような活動も目指していきたいと思っています。



### 編集後記

今回のおしらせでも、利用者さんの明るく、楽しく、生き生きと生活する姿をみていただけると嬉しいです。私たち聖ヨハネ会の職員は、「病める人、悩み苦しむ人、弱い立場の人を大切に」という創立者の心を心とし、利用者さんに対して、相手の身になって、あたたかく、親切に、接するように心がけています。時代の変遷に伴い、その解釈も変わってくることはあってもその心には変わりはなく、変わってはならないと常に思っております。(渡)

### 社会福祉法人 聖ヨハネ会にご援助を!!

### 会の福祉事業発展のために

私どもの福祉事業は大別すると下記の種類があります

桜町病院（一般病棟・療養病棟・ホスピス病棟）

富士聖ヨハネ学園・富士北麓聖ヨハネ支援センター（障害者支援施設・障害福祉サービス事業）

桜町聖ヨハネホーム（特別養護老人ホーム・老人短期入所事業）

桜町・本町高齢者在宅サービスセンター（老人デイサービスセンター・老人居宅介護等事業）

小金井・清瀬聖ヨハネ支援センター（居宅支援・就労支援事業）

#### ★銀行振込★

口座名 社会福祉法人 聖ヨハネ会（普通預金）三菱東京UFJ銀行小金井支店 No.4127570

#### ★郵便局振込★ 00190 - 7 - 711126 社会福祉法人 聖ヨハネ会